

令和5年1月13日

発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会
業務・マネジメント部会（令和4年度第1回）

資料3

電子納品保管管理システムの機能改良等

<現状>

- 電子納品保管管理システムは受発注者間でデータの利活用ができるよう、検索・ダウンロード・外部閲覧等の各機能を順次実装しており、今後はDXデータセンターや国土交通データプラットフォームとの連携を予定。
- 検討状況管理台帳は、工事・業務の履行段階において、受発注者間の情報共有や、納品データの後工程への引き継ぎを確実にかつ円滑に実施することを目的に、開発を進めている状況。
- 現国土交通省電子入札システムは、令和3年1月より稼働。工事、業務併せて年間約3万件の開札が行われ、発注者1.1万人、受注者18.2万人(ICカード発行枚数)が利用するシステム。また、連携するシステムとして、CCMS(省内統合、地整単独)、入札情報サービス(PPI)、入札説明書等ダウンロードシステム、技術資料等アップロードシステムがあり、入札手続きの各段階において、それぞれのシステムで情報のやりとりを行いながら運用している状況であるが、入札手続きに係る国交省職員、入札参加者の事務負担が増しており、手続きの効率化が求められているところ。

<本日ご議論頂きたい点>

- 新電子入札システムを導入するにあたって留意する事項

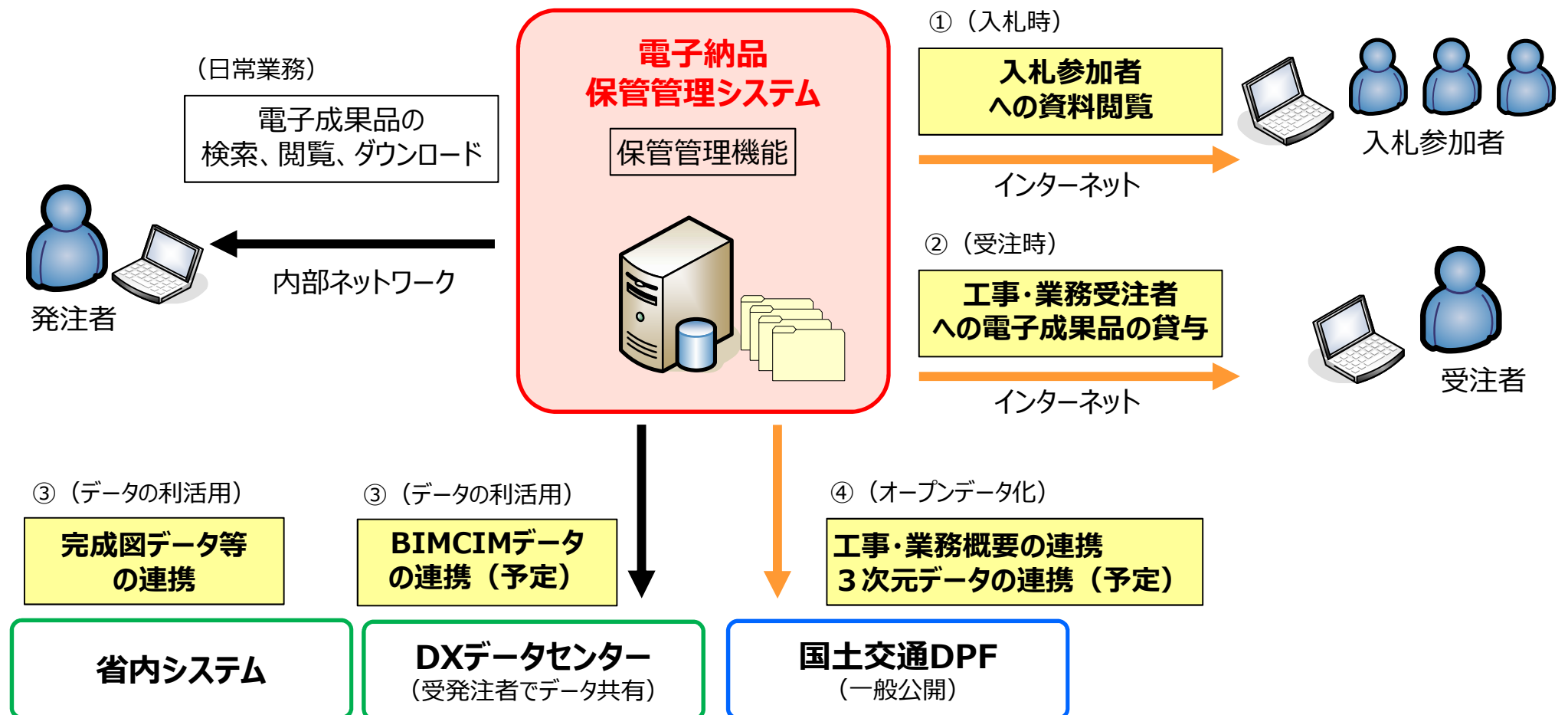
電子納品保管管理システムの機能改善

○ 電子納品・保管管理システムの機能強化

・保管管理機能に加え、発注時及び履行中の受発注者間のデータ利活用機能等を追加。

- ①(発注時)入札参加者への電子成果品の閲覧
- ②(受注時)工事・業務の受注者への電子成果品の貸与
- ③(データの利活用)DXデータセンター、省内システムとのデータ連携
- ④(オープンデータ化)国土交通DPFとのデータ連携

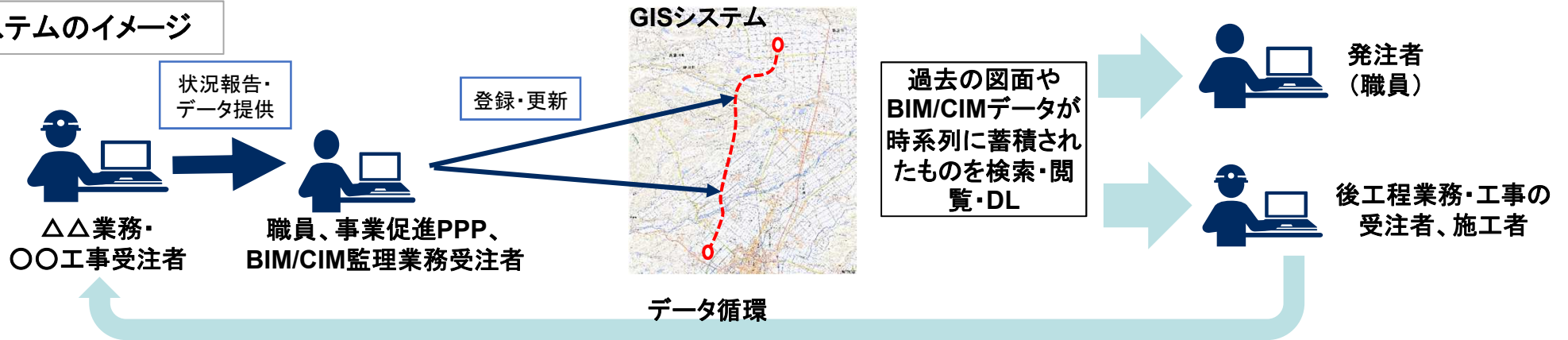
○ 今後、工事施工中におけるオリジナルデータの利活用のための納品要領の改定、電子納品・保管管理システムの改良を実施。



(仮称)検討状況管理台帳について

- 設計対象物の検討データを後工程に着実に引き継ぐことが求められている。
- 業務契約単位で保管されている電子成果を事案別、関係機関毎に地図上で見える化を実現。
⇒各事業における地区・区間毎に、設計履歴(経緯や背景も含む)や関連する電子成果品が参照できるシステムを構築し、データ流通の効率化を図る。
- 簡易版を12月より活用。プロトタイプは今年度内に構築し、来年度以降試行を通じて実現を図っていく。

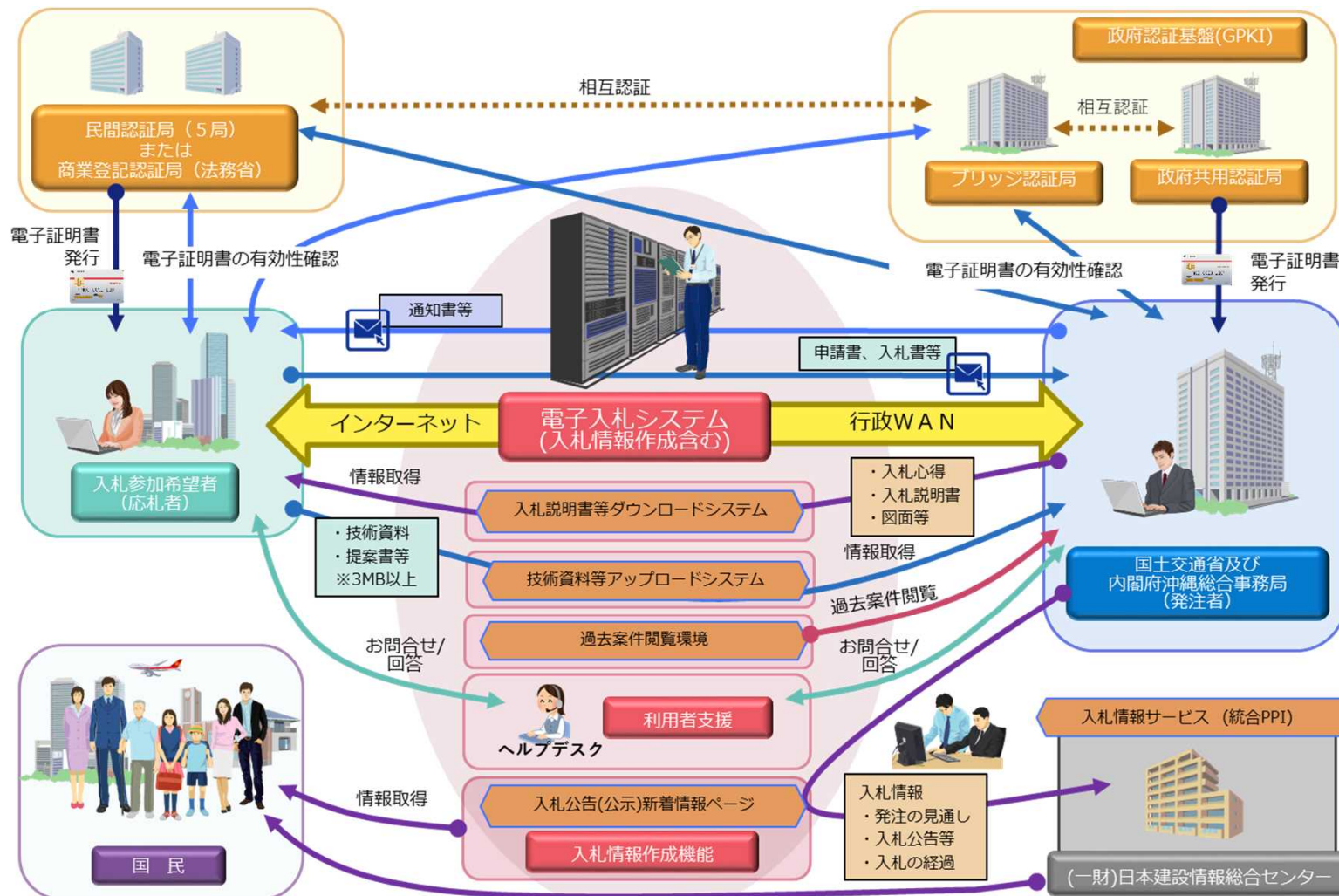
システムのイメージ



	R4	R5以降
簡易版 (表計算ソフト等による管理表に座標情報を付与)	マニュアル、運用方法周知	希望事務所で活用
GISシステム	機能要件検討 システム構築	プロトタイプ試行 改良 調整 本運用
	納品ルール検討	○電子納品要領改定

次期電子入札システムの構築に向けた検討方針

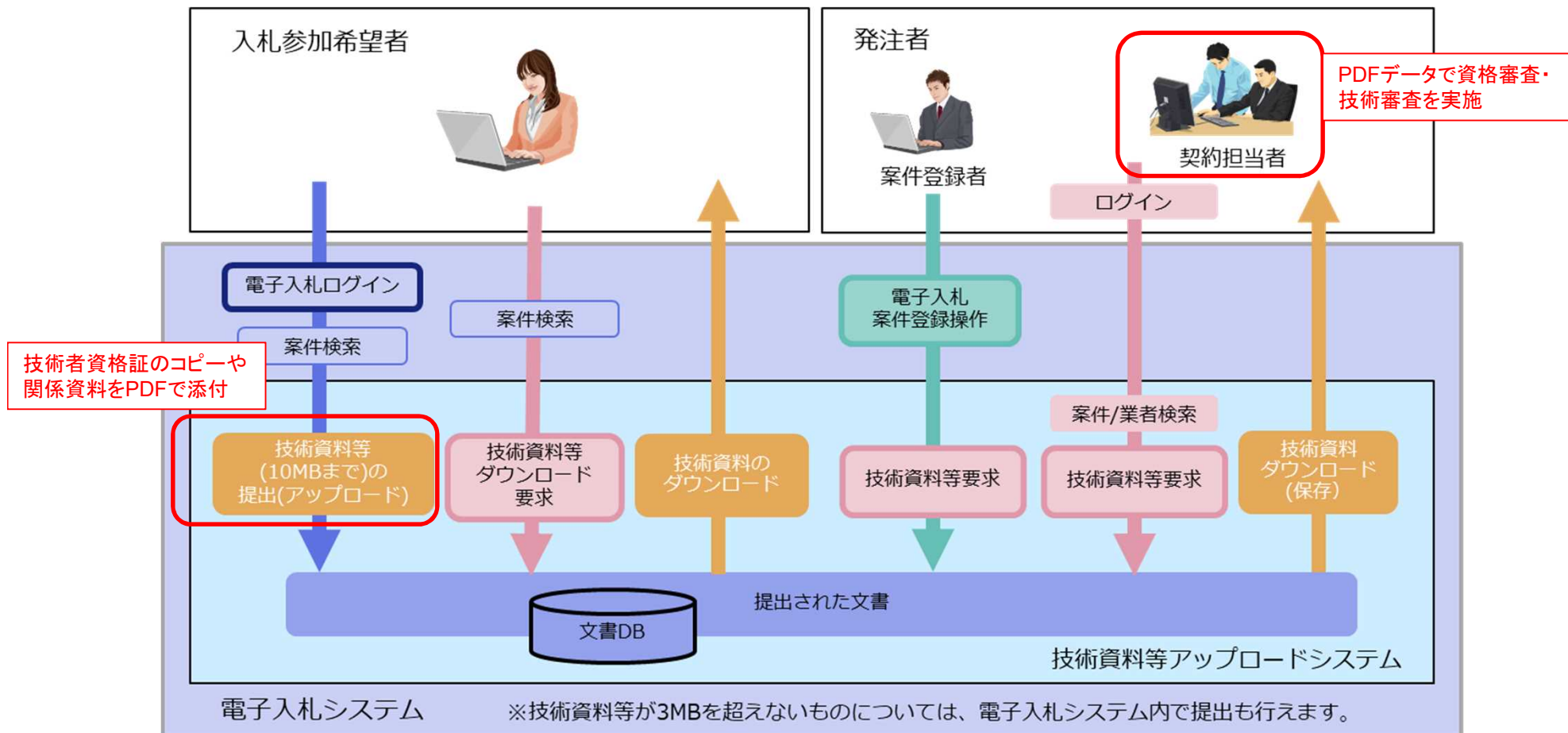
- 現在の電子入札システムは、令和2年1月に稼働開始し、機器更新を令和7年1月に迎えることになっている。
- 連携するシステム(ダウンロードシステム、技術資料アップロードシステム)を介して、入札に必要なデータの提供や提出を実施。



国土交通省電子入札システムの動作イメージ

次期電子入札システムの構築に向けた検討方針

○例えば、「技術資料等アップロードシステム」では、入札参加希望者が技術資料等をアップする際、申請書等をPDF化し登録、発注者は登録されたPDFデータをダウンロードし審査を行っており、一部では印刷した紙ベースで実施するなど、システム利用者の作業効率の改善が必要ではないか。



技術資料等アップロードシステムの概要

次期電子入札システムの構築に向けた検討方針

- 現在の電子入札システムや関連システムにおける課題、改善事項を抽出するため、現状把握を実施する。
- R7年度からの新システム稼働に向け、自動化・効率化できる作業項目を抽出、システム設計に反映する。
- 入札情報についてはDB等に蓄積され、発注者内部における各種集計や分析に活用。

検討フロー

1) 現状把握

受発注者双方の実務担当者等より入札手続きの各段階における現システム及び連携するシステムの使い勝手、そこに係る手間、時間、改善要望などについて聞き取り等を通じて整理する。

2) 課題の抽出・分析

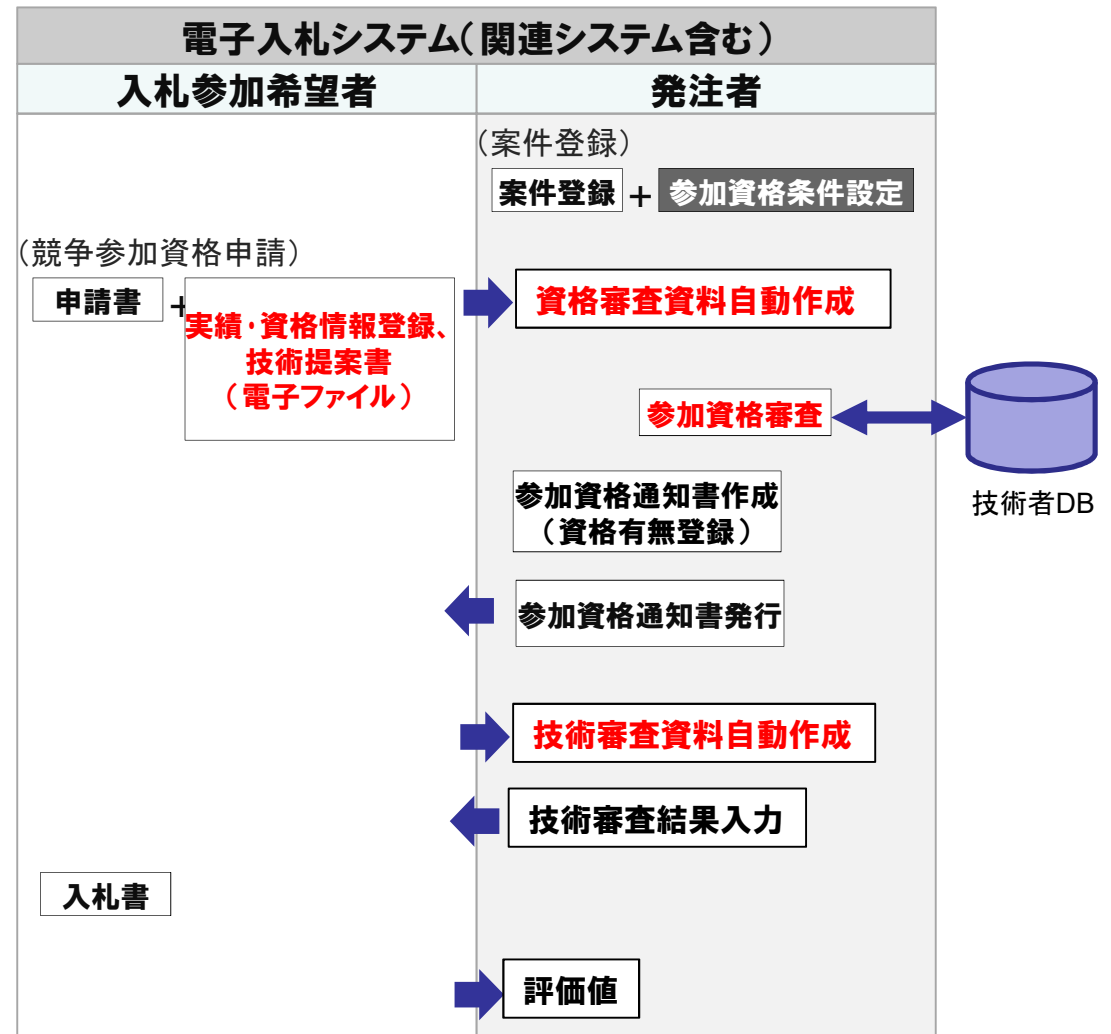
課題を抽出し、効率化を阻害する要因を分析する。(例えば、〇〇についてはPDFで提出することになっておりデータが重い、加工ができない等)

3) 効率化に向けた改善案の検討(機能要件の検討)

改善策を検討し、技術的、時間的な観点等から、長期的な対策、当面の対策に分類し、新システム及び連携システムに求める機能を整理する。

詳細設計

自動化・効率化するイメージ(赤字部分)



電子入札システム更改スケジュール

